

Outline

Introduction to Media Studies

- テーマ設定、プレゼンの構成（本論）の説明
- 30分英語訓練（今日はグループ5）
- グループ5以外、構成の説明を受けて、プレゼン準備（記録）

I'll use English based on these slides in Japanese so, please follow a slide if you don't understand.

テーマ設定の仕方

言い忘れていたので: テーマ設定のパターン

1. 授業（会社、クライアントなど）から具体的なテーマを設定された場合
2. 大まかなテーマを設定されていた場合
3. 自分で自由に設定できる場合

テーマ設定の仕方

言い忘れていたので: テーマ設定のパターン

1. 授業（会社、クライアントなど）から具体的なテーマを設定された場合 → それに合致した発表内容を準備: 「映画におけるジェンダーの表彰について、一つ事例を選んで報告しなさい」となっていた場合はそれについてまとめる
2. 大まかなテーマを設定されていた場合
→ SNSとその影響について、といった幅のあるテーマの場合は、それと関連させ、よりテーマを絞り込む
3. 自分で自由に設定できる場合 → メディアに関係していればどれでもとなっていた場合など。授業と関係・関連しているテーマにしておくといい。

テーマ設定の仕方

言い忘れていたので: テーマ設定のパターン

1. 授業（会社、クライアントなど）から具体的なテーマを設定された場合 → それに合致した発表内容を準備: 「映画におけるジェンダーの表彰について、一つ事例を選んで報告しなさい」となっていた場合はそれについてまとめる
 2. 大まかなテーマを設定されていた場合
→ SNSとその影響について、といった幅のあるテーマの場合は、それと関連させ、よりテーマを絞り込む
- 本ゼミのテーマは、2と3の間の中途半端な位置: 動画のテーマを選び、それに関連していれば自由に発表の内容を料理できる
3. 自分で自由に設定できる場合 → メディアに関係していればどれでもとなっていた場合など。授業と関係・関連しているテーマにしておくといい。

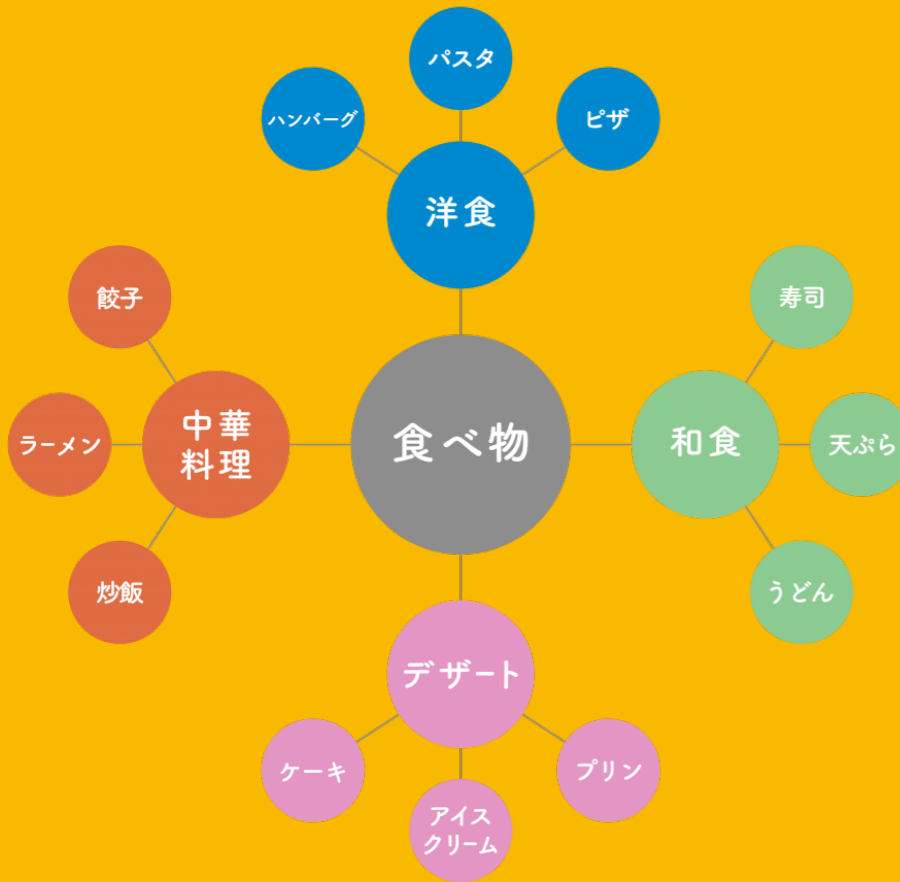
テーマを設定したら

言い忘れていたので: テーマ設定のパターン

1. 自分が特に興味を持ち、かつ、他の学生と情報共有や意見交換をする価値があると思われるテーマ案を書き出して、絞りこむ
2. 以上の過程では次のような作業が大抵伴う: 授業中（工作中）とったメモ（ノート）や配布資料を読み返す、図書館で関連文献や資料を調べ内容を整理、必要に応じて先生などに意見交換やアドバイスをもらったりする
3. プレゼン（レポートなども）始まり・本論・終わりの構成を考える

1

プレゼンのキーワード、要点を整理する



2

序論、本論、結論の具体的な内容を考える

3

アウトラインを考える

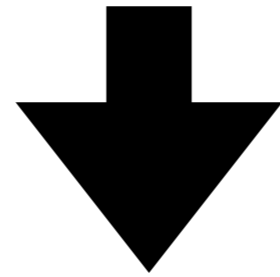
必要に応じて調査

先生に意見交換

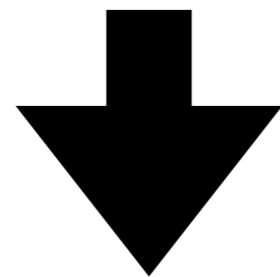
エキスパートにきく

プレゼンテーションの構成②

インドロダクシヨシ



ボディ (メイン) 本論



クロージング

いちばん伝えたいこと
(見出し)

内容を簡潔にまとめる
(リード)

説明や補足
(本文)

教科書的「初めに」の部分の書き方
あるいは、論考の展開方法、
新聞記事の書き方

HOOK: つかみを加えてほしい

いちばん伝えたいこと
(見出し)

内容を簡潔にまとめる
(リード)

このあたりに選択した動画の概要説明を入れる。あるいはスキップして、概要説明は資料で渡してしまう。

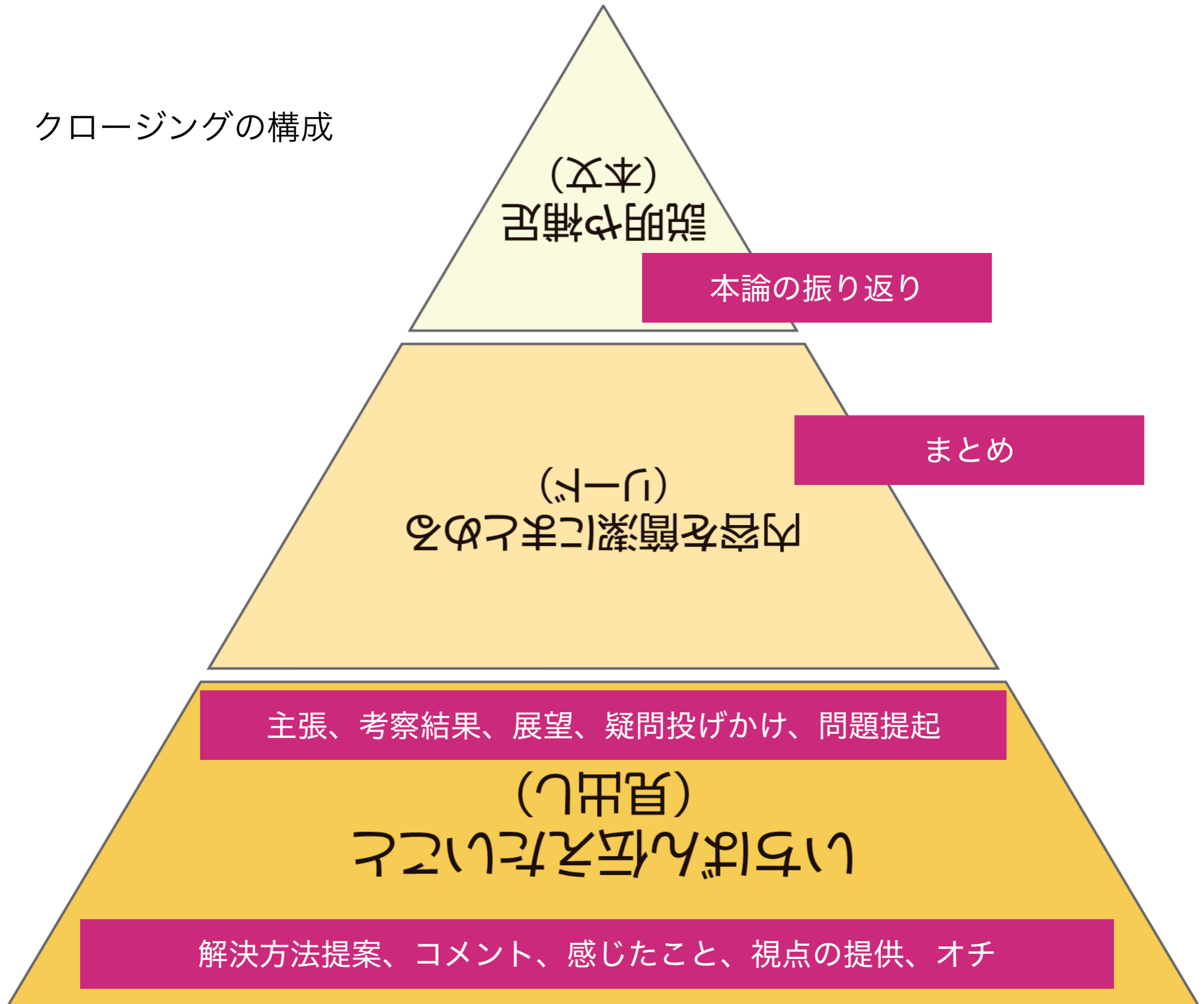
説明や補足
(本文)

ボディ・本論

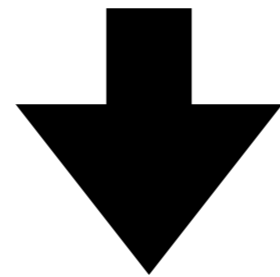
- 主題・主張。メインテーマが最初にきて、そのあとサブテーマがくる、という構成にするのが一般的
- サブテーマ = 補足、聞き手に本論を伝える理由、雑学知識、ジョーク、説明、背景解説、根拠
- 補足情報は3つくらいがいいとされてる
- イントロダクションで言いたかったことの詳細、根拠、補足説明などを加える

-

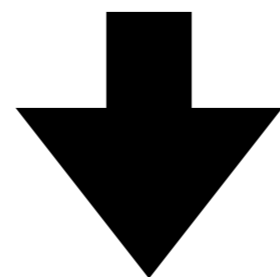
クロージングの構成



インドロダクシヨシ



ボディ (メイン) 本論



クロージング

本論の構成

何を言うかも含め

- 問題・テーマ・言いたいことに対して、主要なポイントは何か明確にして、示す。
- 主要ポイントの根拠を挙げて論理的に説明、会話、話しを進める（論理的というのは感情が中心の人間にとっては難しい作業なので、可能な限り「筋」を通すように構成を考える）
- よく用いられる本論の構成というのがある

本論の構成

何を言うかも含め

- 時間的順序（そのまま文字通り）
- 空間的順序（場所の説明をするときなど）
- 分類（分類して全体像をみせ説明していくもの）
- 手順（手順を見せる、過程を見せるなど）
- 理由（自分の主張の智勇を示し、結論を導く）
- 因果関係（原因と結果を示すもの。）
- 因果関係→問題提起、問題解決策の提案といった構成もある

ゼミの目的

- アカデミックスキルを身につける
- 先生の代わりに先生のようなことをしてもらう
- おっさん先生の視点がバリバリ入っている話を聞かないで済むように、皆でメディア論に関する話を自分達自身の感覚に合わせて共有する
- ついでに次のことを習得あるいは目的にする: グループワークスキル、メディア論に関するテーマへの興味関心を持つ、自分から調べる素養を身につける、ゼミの単位をなるべくいい成績で習得する、金を得たり売り込みをする基礎を学ぶ

プレゼン課題に関して、説明・例
(どういう感じでプレゼンをまとめるか参考)

プレゼン準備:やらなければならないこと

- **動画の内容をもとにプレゼンテーションの骨格・アウトライン、結論をどうするかを決める**
- 結論は先生の方では決めない。自分達でどういう話の展開にして、結論をどうするのか、プレゼンの注意点を参考に考える
- **自分達の視点:考え、思ったことを含めて、プレゼンのテーマの重要性（またはその逆）などを考え、疑問の共有、問題提起、興味深い点の提示、解決策等提案**
- **以上をもとに全体のプレゼン構成**

評価基準

- メインポイント（主旨）が明確か
- 可能な限り論理的か
- 聞き手を配慮するプレゼンに見えるか
- 面白さ、独創性はあるか？ Is it interesting?
- 効果的に情報を共有しようとしているか？

30分の英語訓練

その間、他グループはグループ活動1

継続してください

1.個人課題を 進める

2.グループ課題を進める

3.英語の自学自習、語学の自学自習

4.色々なニュース、ドキュメンタリー、本、雑誌、漫画、ネットで情報を得る。興味がありそうなものは可能な範囲で深掘り

5.メディアに関係したこと、本、動画、論文、エッセイを読む